

ヤングケアラー支援の取り組み



株式会社 チャーム・ケア・コーポレーション
CHARM CARE CORPORATION

令和6年3月

チャーム・ケア・コーポレーションについて

会社概要

会社名	株式会社チャーム・ケア・コーポレーション
本社所在地	大阪本社 大阪市北区中之島三丁目6番32号 東京本社 東京都渋谷区渋谷三丁目28番15号
事業内容	有料老人ホームの運営ほか
資本金	27億5,925万円
従業員数	約3,000名（パート・嘱託・派遣社員含む）
運営ホーム数	87ホーム

※2024年2月現在

沿革

2005年4月	当社で第1号ホームとなる介護付有料老人ホーム「チャームやまとこおりやま」を開設
2008年9月	介護付有料老人ホーム「ルナハート千里 丘の街」を運営する株式会社つばめ荘の株式を取得、子会社化（2010年5月に吸収合併）
2012年4月	大阪証券取引所JASDAQ市場（現東京証券取引所JASDAQ市場）に上場
2014年9月	当社で首都圏初となる介護付有料老人ホーム「チャームスイート石神井公園」を開設
2017年2月	チャームプレミアシリーズ第1号ホームとなる介護付有料老人ホーム「チャームプレミア目白お留山」を開設
2018年3月	東京証券取引所第二部へ市場変更
2018年7月	東京本社を設置し二本社制とする
2018年12月	東京証券取引所第一部へ市場変更
2020年7月	人材派遣業を主たる事業とする株式会社グッドパートナーズの株式を取得、子会社化
2021年11月	介護事業を主たる事業とする株式会社ライクの株式を取得、子会社化
2022年4月	東京証券取引所プライム市場へ移行

気づきを大切にする介護体制と

介護のプロフェッショナルとしてのクオリティの高いサービス

ご入居者様お一人おひとり、健康状態や生活習慣、価値観などが異なることから、当然ながらサービスに対するご要望は異なります。

そこで当社では、サービスの提供に際して、まずご入居者様のご要望をじっくりうかがうことから始め、日々のサービス提供時に得られる「気づき」を大切にする事で、ご入居者様にとって必要なサービスは何かを常に模索しています。また、介護サービスの提供は、身体介護や生活援助はもちろん、快適な生活空間づくり、イベントの企画、さらにはスタッフの身だしなみや言葉づかいなどサービスの一つひとつに至るまで、きめ細かい心配りが重要です。当社では、介護技術の研修に加えて接遇研修や事例の共有などを通じて、介護のプロフェッショナルとして確かなクオリティのサービス提供に努めています。



介護DXの推進

ご入居者様の生活の質向上や睡眠の質の向上を目的とした機器やシステムの導入により、スタッフの業務負担軽減や離職率の低減、ひいてはホームの介護力の向上を図ることができると考え、介護DXの専門部署を立ち上げて積極的に取り組んでいます。

※厚生労働省介護給付費分科会2022年度実証事業「テクノロジー活用等による生産性向上の取組に係る効果検証」に当社の取組みが採択されました。

チャーム・ケア・コーポレーション 介護DX4つの目標

- 1.ご入居者様の生活の質向上
- 2.介護スタッフの本来業務時間の確保
- 3.労働環境の向上による離職率の低減
- 4.ホームの介護力向上



睡眠解析技術をベースにしたSaaS型高齢者施設見守りシステム(イメージ)

「施設」ではなく「住まい」の提案

私たちは、これまで培ってきた高齢者向け住宅の建築・設計ノウハウをもとに、ご入居者様には自宅に限りなく近い「住まい」を提供することで、「より安心できる、快適な居住空間の創造」を実現してまいりました。今後も、開設するホームの地域のニーズや環境に合わせたフレキシブルな設計をおこない、「住み慣れた地域に住み続けたい」という想いをサポートしてまいります。



チャームプレミア グラン南麻布 外観



チャームプレミア 橋の木坂 エントランス



チャームスイート 世田谷上馬 カフェコーナー

サステナビリティへの取り組み

当社はプライム市場上場企業として、サステナビリティ基本方針に則り「地球環境問題への配慮」、「人権の尊重」、「従業員の健康への配慮、労働環境の整備、処遇改善」、「社会との公正・適正な関わり」、「リスクマネジメント（危機管理）」という5つの項目に対し、事業を通じて取り組む重要課題として目標を設定しております。

－ サステナビリティ基本方針 －

私たちチャーム・ケア・コーポレーションは、企業理念のもと、事業を通じて「豊かで実りある高齢社会」づくりに貢献することをミッションと位置付けております。
このミッションの遂行にあたり、社会・環境をはじめとするサステナビリティを巡る諸課題への適切な対応が重要な経営課題であると認識し、ステークホルダーの皆さまとの協働を通じて、持続可能な社会の構築に貢献するとともに中長期的な企業価値の向上を目指してまいります。

重要課題	目標	主な取り組み事例
地球環境問題への配慮	環境負荷の低減	<ul style="list-style-type: none"> 使用済み制服のリサイクル 太陽光発電によるCO2排出削減
人権の尊重	多様性を認める職場環境の実現	<ul style="list-style-type: none"> 女性管理職比率UP 「子育てサポート企業」の認定 ハラスメント対策 外国人スタッフの雇用促進
従業員の健康への配慮、労働環境の整備、処遇改善	働き方改革の実現	<ul style="list-style-type: none"> メンタルヘルスサポート 資格取得支援制度 限定正社員制度 仕事とプライベートの両立支援 定年年齢を60歳から65歳に延長し高齢者が活躍できる環境を整備
社会との公正・適正な関わり	健康寿命の延伸	<ul style="list-style-type: none"> 認知症への取り組み アートギャラリーホーム活動 IT化促進
	地域社会とのパートナーシップ	<ul style="list-style-type: none"> ヤングケアラー支援 介護に関するセミナーの開講 地域清掃イベントへの参加 グリーンボンド（大阪市発行）への出資
	コーポレート・ガバナンス体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> コーポレートガバナンスに関する報告書による開示遵守 指名委員会及び報酬委員会の設置
	コンプライアンスの徹底	<ul style="list-style-type: none"> リスク・コンプライアンス委員会設置 コンプライアンス強化月間
リスクマネジメント（危機管理）	事業継続計画（BCP）の策定	<ul style="list-style-type: none"> 自然災害対策感染症対策 地域との災害対策協定締結

具体的取組（一例）

「アートギャラリーホーム」

絵画やオブジェ等のアート作品が人々の心を癒し、穏やかで潤いのある生活環境を演出するものであることに着目して、オリジナルのアート作品をホーム内の随所に展示した有料老人ホームです。

展示作品は、芸大・美大生などの学生を中心とした作家から募集しており、若手作家の育成や発表機会の提供につながるるとともに、若い感性が高齢のご入居者様の生活に融和することで新たな対話が生まれ、ご入居者様はもちろんご家族様や働くスタッフにとっても魅力的な空間となることをめざしております。



公益社団法人企業メセナ協議会が運営するメセナアワード2023において、優秀賞を受賞しました。

「アートギャラリーホーム」特設サイト
<https://www.aghccc.com/>



「ヤングケアラー支援」

「社会との公正・適正な関わり」の一環として取り組んでおりますヤングケアラー支援は、神戸市との協力による支援をおこなっています。また、特定非営利活動法人ふうせんの会に対し、活動資金の援助や当事者会である「子ども・若者たち（ヤングケアラー）のつどい」の開催で協働しております。さらに、兵庫県尼崎市のスクールソーシャルワーカーと協力し、尼崎市内の当社が運営する有料老人ホームで行うイベント「こどもgaカフェ」の開催支援に取り組んでいます。

ヤングケアラー支援の取り組み

当社は、介護サービスの提供を通じて、高齢者(被介護者)と高齢者を介護する家族の適切な関係づくりに寄与してきました。高齢家族のケアを担うこども・若者ケアラー(ヤングケアラー)は、人生の様々な選択の機会に制約が生じているという指摘をされています。

関係機関との連携のもとヤングケアラーへの支援を通じて、当社の「豊かで実りある高齢社会づくりに貢献する」という使命を果たして参ります。

こども・若者ケアラー



すべての人に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する

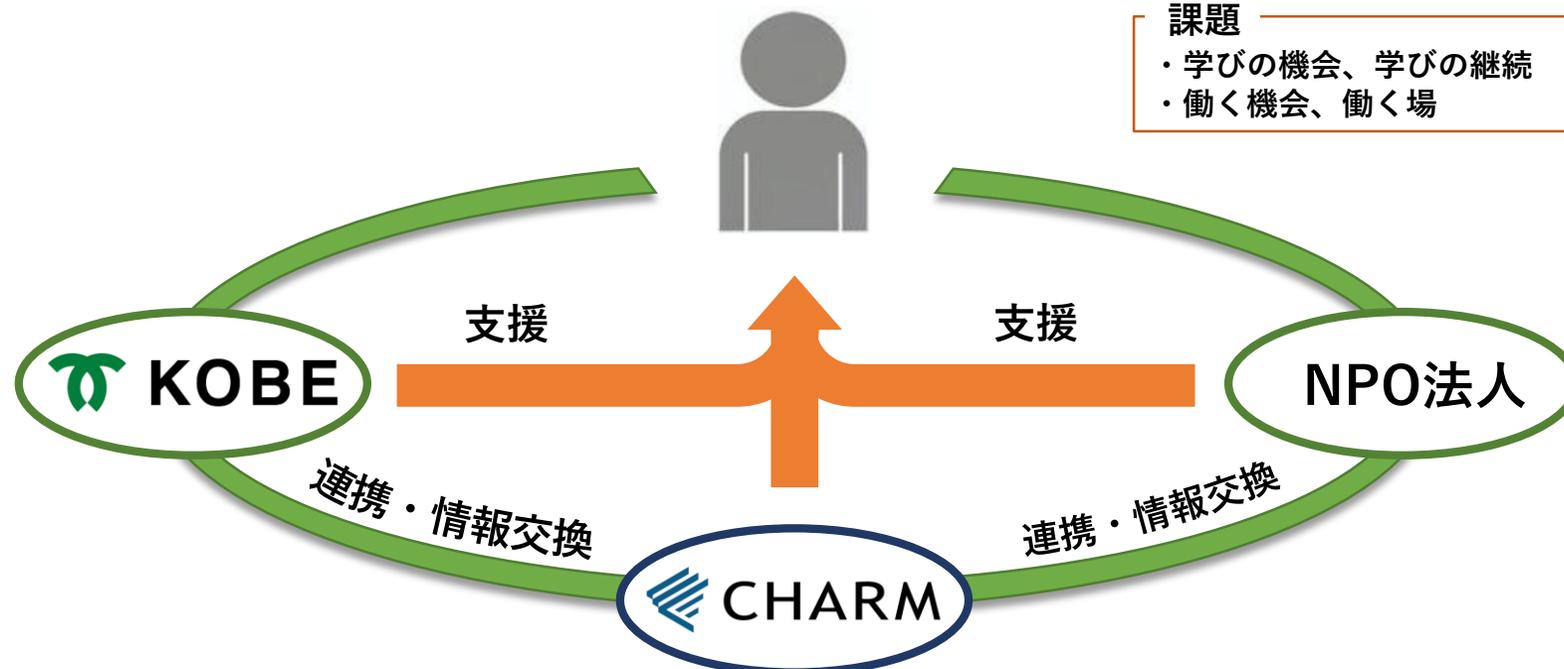


包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用を推進する



あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する

課題
・学びの機会、学びの継続
・働く機会、働く場



取り組みの経過

2021年 5月	ヤングケアラー支援チーム発足
2021年12月	NPO法人こうべユースネットへ当事者会用の備品等を定期的に寄贈
2022年 5月	ふうせんの会と協働で「つどい」の開催支援を開始
2022年 8月	神戸市 こども・若者ケアラー相談・支援窓口と協力して独自支援を開始
2023年 2月	NPO法人ふうせんの会主催（共催 枚方市）シンポジウムで発表
2023年 2月	「こどもgaカフェ」をスクールソーシャルワーカーと協働で開始
2023年 3月	一般社団法人ヤングケアラー協会主催（厚労省委託事業）シンポジウムで発表

ふうせんの会と協働で「つどい」の開催

開催実績：5回

参加人数：元ケアラー50名

支援者30名 スタッフ50名（延べ）



神戸市と協力した独自支援

就労支援：3名就労中



「こどもgaカフェ」のイベント開催

開催実績：6回

参加人数：こども90名 保護者20名

教育関係者50名 スタッフ50名（延べ）



事業連携協定項目

1	レスパイト支援 —息抜き支援—	学習や気分転換など一時的に自宅を離れたい、自宅で自由に過ごしたいケアラーと介護認定を受けたご家族さまに対し、当社運営ホームの居室や食事などを無料提供
2	中間的就労支援 —就労訓練支援—	家族のケアにより就労が困難な状況にある現・元ケアラーに対し、就労の機会および将来の一般就労へ向けた就労訓練として、当社運営ホームでのアルバイト就労を支援
3	奨学金支援 —代理返還支援—	就学中のケアラーの経済的・心理的な負担を軽減し、20代のキャリア創造期を自身の成長に向け、より安心して仕事に専念してもらう環境の提供

1.レスパイト「息抜き」支援（お部屋とお食事の無料提供）

「一時的に自宅を離れたい、自宅で自由に過ごしたい」などのニーズがあるケアラーと介護を必要とする方に当社運営ホームのお部屋とお食事を無料で提供します。

●対象者

ケアラー 神戸市相談・支援窓口から紹介のあった18歳～29歳
被介護者 介護認定を受けている方

●対象ホーム

兵庫県内16ホーム（神戸市内4ホーム）

●利用日数

日帰り利用から2泊3日 食事付きで無料 ※無料送迎あり

●利用想定

- ・自宅から一時的に離れたいニーズに答える
- ・修学旅行など外泊時に被介護者の受入れ
- ・自宅を離れることを拒否する被介護者に対しケアラーと一緒にホームで過ごし外部の環境に慣れてもらう



お部屋（イメージ）

2. 中間的就労「就労訓練」支援（柔軟に勤務ができるアルバイト）

家族のケアにより就労が困難な状況にある現・元ケアラーに対し、就労の機会及び将来の一般就労へ向けた就労訓練の機会を提供します。

●対象者

神戸市相談・支援窓口から紹介のあった16歳～29歳の現・元ケアラー

●就労（訓練）内容

軽易な日常業務（清掃、洗濯など）
直接作業指示する職場担当者とは別に、支援担当者を配置
就労条件における一定の配慮
(労働時間など、ご家庭の状況に応じて柔軟に対応)
給与は、一般スタッフと同じ

●勤務地

兵庫県内16ホーム（神戸市内4ホーム）

●利用想定

- ・ 家庭の状況に合わせた自由度の高い勤務体系
- ・ 就労の経験がないケアラーへの訓練の場を提供
- ・ 心的ストレスを抱えたケアラーへ配慮した業務



3.奨学金支援（奨学金を企業が返還）

家族のケアにより家計状況の厳しい世帯における学生の経済的・心理的な負担を軽減し、20代のキャリア創造期を自身の成長に向け、より安心して仕事に専念してもらう環境を提供します。
当社への入社が返還条件となります。

- 選考対象者**

神戸市・NPO法人・大学より紹介のあった大学3.4回生

- 選考基準**

当社への入社を条件とし採用基準をクリアした学生

- 対象奨学金**

独立行政法人 日本学生支援機構 貸与型奨学金

- 返還方法**

入社期間中の月々の返還を1名3万円まで代理で返還
(期間と金額についてはヒアリングを行い個々に決定)

